

食材提供に関する実例



2023年9月から会員登録し2023年中に3件の問い合わせを頂き、
2件提供、1件見送りになりました。
その実例をご紹介します。

ケース1

三沢市社会福祉法人様からの依頼

- ・受取希望日：なし
- ・受取方法：冷蔵、冷凍
- ・魚種：指定なし
- ・提供形態：なし
- ・数量：なし



提供を始めたばかりで手探りな状態で掲示板に記載して頂いた為、ほとんど指定なしで提供の依頼であった。

今時期はタラの提供になる事を説明すると、フィレ希望の他にじゃっぱ汁をしたいとの事でタラの頭も希望されていた。

じゃっぱ汁と聞いたのでせっかくならと頭の他にアラもそのまま調理出来るようにぶつ切りにして冷凍、発送した。



ケース2

青森市NPO法人様からの依頼

- 受取希望日 いつでも可
- 受取方法 青森市なので、郵送を希望
- 希望する魚種 タラ、モズク
- 提供形態 お任せいたします。
- 数量 それぞれ2～3キロほど



モズクは時期を過ぎていて在庫がなく、次のシーズンにまた声をかけて欲しい事を告げると快諾してくれた。受取がいつでも良かったので、準備出来次第発送→受取までスムーズに完了した。数量が具体的でわかりやすく、準備もしやすかった。



ケース3

見送りになった実例

1. 団体名 [REDACTED]
2. 電話番号：[REDACTED]
3. 受取希望日：11月22日（水）
4. 受取方法：クール便
5. 希望する魚種は特にありません
6. 提供形態：冷凍
7. 数量：40世帯程に1～2尾の配布を予定しております

連絡を頂いた時に提供できる魚種が「タラ」だったこと。

数量に「1～2尾」とあり、40世帯と数が多かった。

→タラは大型魚なので一尾丸ごとは、冷凍は非常に難しい事、また一般家庭でも扱いが難しい魚種なので、フィレにする事を提案したが漁の解禁日が11/15日で11/22日までに希望の数量の魚をそろえるのが難しいかもしれない。以上を伝えると、で相手方から見送りの申し出があり、見送りになった。



小型魚や海藻類、貝類であれば可能であったかもしれない。

もう少し詳しくヒヤリングや対処方法の話し合いが出来ればよかったのかもしれないが、相手方より早々に見送ると連絡を頂いたので深追いしなかった。

今後は、相手方の都合を優先しながら調整を取って対応していけるようにしていきたい。



まとめ



- 今年度は提供を始めたばかりではっきりと提供できる魚種を知らせる事が出来なかった。
- 受取希望日がない方が提供しやすいと感じたが、冷凍しストックする事で日持ちを気にせず幅広く提供できる事がわかった。
 - 日時指定、提供形態などできる限り対応していきたい。
- ヒアリングを含め連絡を密に入れる事でセンターの休みにかぶらないように発送するなど相手方に迷惑をかける事なく品物の受け渡しが出来た。
 - 依頼者は他の業務があるため負担にならないように簡潔にやり取りを済ませるように意識した。
- 提供形態(フィレ、1尾など)を依頼の最初に知らせてもらえると、発送の方法や希望数量そろえ方などの見通しが立つ為、無駄なやり取りも減り、助かると思った。
- 今後も社会福祉貢献に尽力していきたい。

今後提供できる食材

- 津軽海峡メバル
- モズク
- サザエ
- ホッケ
- タラ
- 他その時に取れた旬の魚

冷凍、生、捌き対応可能

※時間がかかる事があります

